

4 第1回下水道事業運営審議会の資料 (下水道事業の現状・課題)

● 鎌倉市の下水道事業

- ・鎌倉市の下水道事業は、昭和33年3月に分流式の汚水事業を先行してスタートし、地形上の特性から、二つの処理区にそれぞれ終末処理場を持った単独公共下水道として整備を開始
- ・汚水の処理は、昭和47年3月に七里ガ浜浄化センター、平成5年6月に山崎浄化センターが供用を開始

項 目		内 容			摘 要	
		鎌倉処理区	大船処理区	計		
排除方式		分流式	分流式			
面積 (ha)	汚水	供用開始	昭和47年3月	平成5年6月		
		全体計画区域	1,231.0	1,699.0	2,930.0	平成22年度末
		事業計画区域 A	1,191.0	1,468.5	2,659.5	〃
		整備済み区域 B	1,178.3	1,414.2	2,592.5	〃
		整備率(%) B/A	98.9	96.3	97.5	〃
	雨水	全体計画区域	1,231.0	1,699.0	2,930.0	〃
		事業計画区域 C	1,177.7	1,427.2	2,604.9	〃
		整備済み区域 D	834.4	1,169.2	2,003.6	〃
		整備率(%) D/C	70.9	81.9	76.9	〃
	人口 (人)	行政人口 E	177,204			〃
処理区域人口 F		171,165			〃	
普及率(%) F/E		96.6			〃	

※人口は住民基本台帳H23.3.31の値

1. 下水道中期ビジョン策定の背景と目的

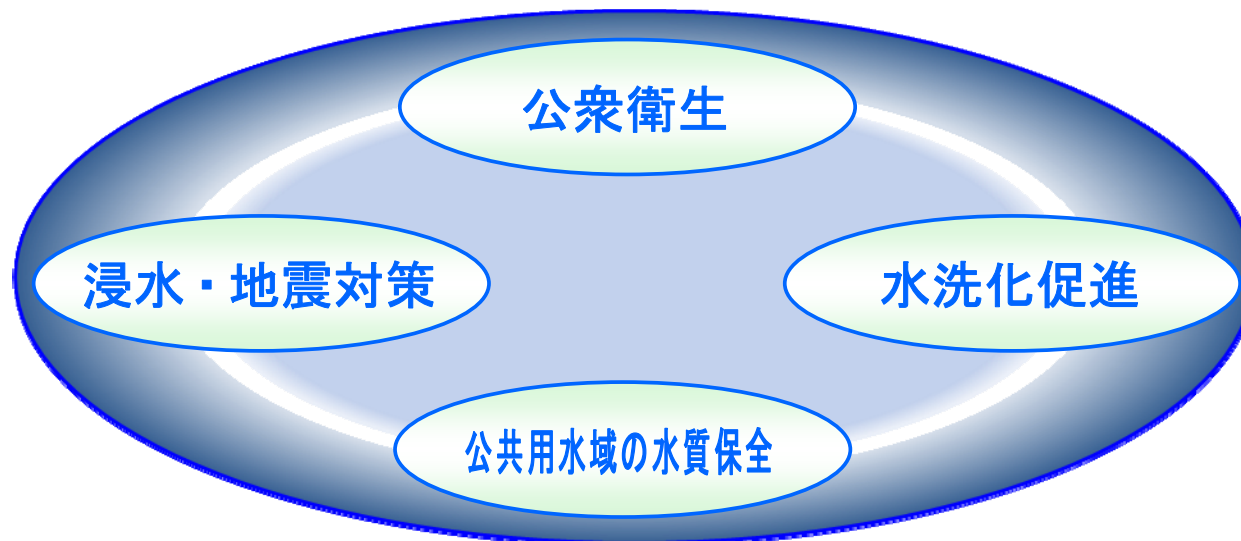
(1) 従来下水道

当初の背景

- ・高度成長期に公共用水域での汚濁問題がクローズアップ

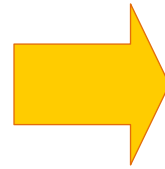
使命と役割

- ・下水道の普及を主要テーマ

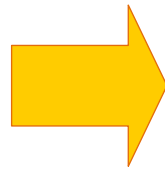


(2) 使命と役割のイメージ

公衆衛生

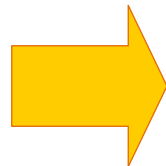


浸水・地震対策



公共用水域の水質保

全



水洗化促進



(3) 下水道を取りまく環境の変化

①社会情勢の変化

- ・少子高齢化にともなう人口減少
- ・節水型社会への移行

②安全・安心なまちづくりへの関心

- ・地震・津波に対する脆弱性が表面化
- ・頻発する集中豪雨による浸水被害の発生
- ・地球温暖化に影響する資源・エネルギー消費の問題
- ・既存施設の老朽化

環境の変化への対応が求められる

(4) 下水道中期ビジョン策定の背景

下水道をとりまく環境の変化に対応するために以下に示す5つの項目をビジョン策定の背景としてとらえ、長期的な下水道のあり方を見据えた中期計画としてまとめる

ビジョン策定の背景

① 施設老朽化

計画的・効率的な維持管理及び改築・修繕の必要性

② 人口減少

適正な住民サービスの提供と持続可能な事業経営体制の構築の必要性

③ 循環型社会の到来

高まる環境意識に向けた施策転換の必要性

④ 災害

地震・津波・浸水等リスクへの対応の必要性

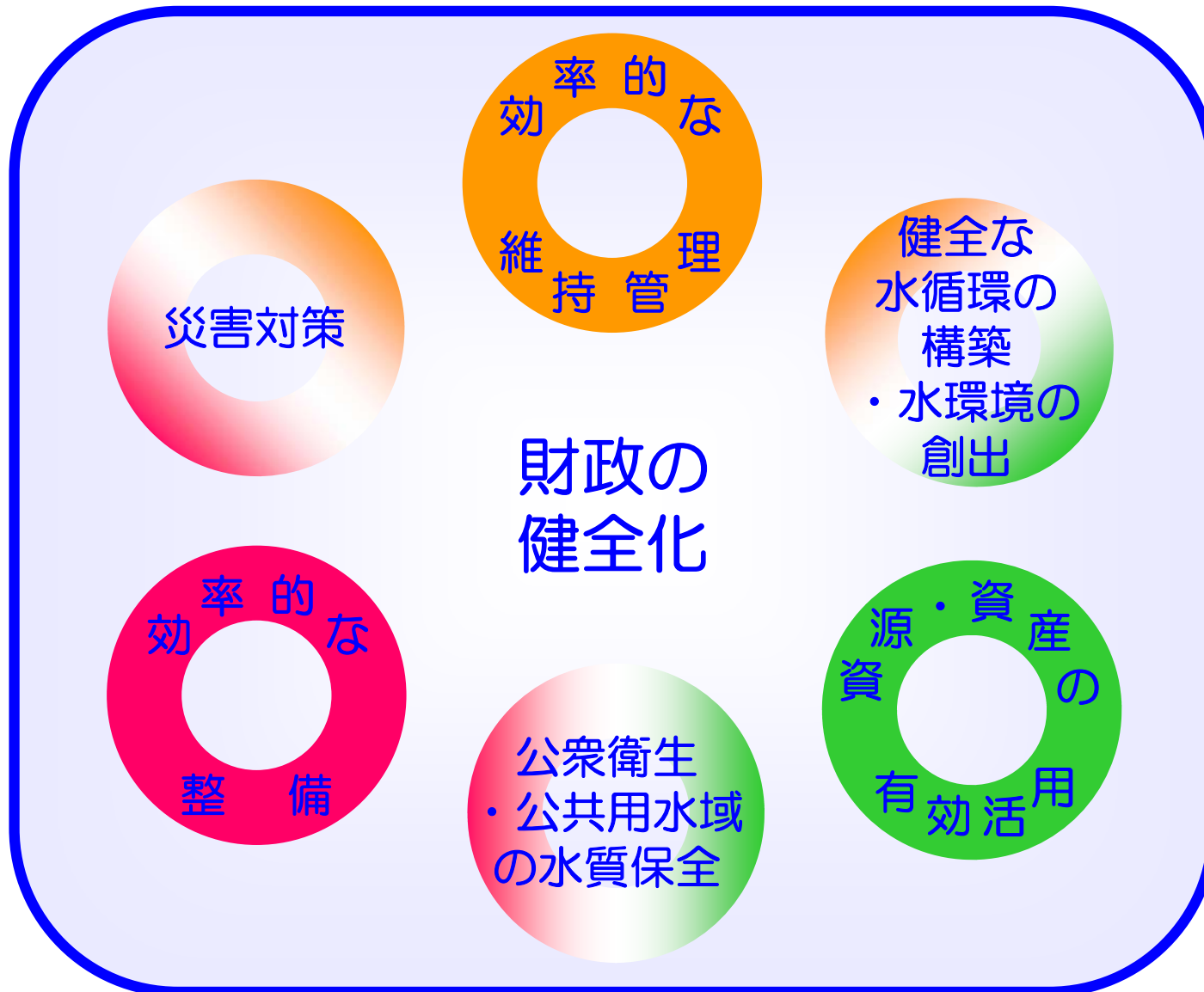
⑤ 財政

厳しい社会情勢と既存の収入減が見込まれる中で独立採算に向けた取り組みの必要性

(5) これからの下水道

使命と役割

持続型下水道の確立を主要テーマ



(6) これからの下水道・使命と役割のイメージ

従来持っている下水道の役割を引き継ぎつつ、
新たなテーマにも対応した多様な使命と役割に応える

従来の使命と役割



公衆衛生



浸水・地震対策



公共用水域の水質保全



水洗化促進

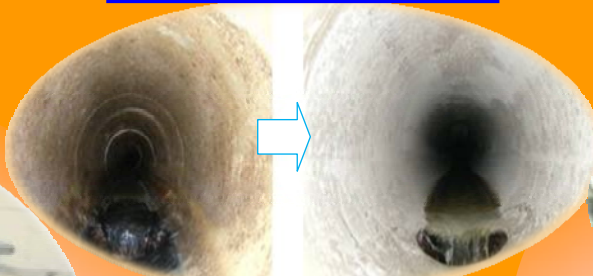
新たに追加された使命と役割

災害対策



市民の安全を災害から守る

効率的な維持管理



老朽化した施設を延命化

健全な水循環の構築・水環境の創出

各戸貯留

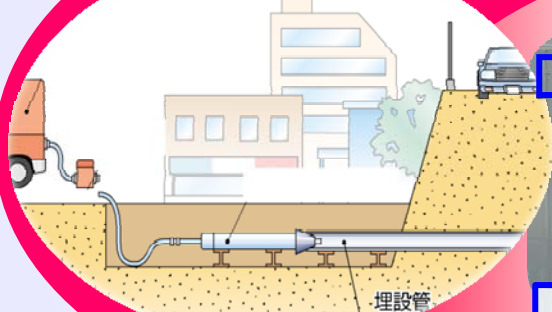


修景用水に

財政の健全化

資源・資産の有効活用

効率的な整備



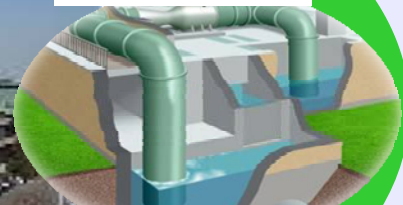
未整備地区を解消

処理施設上部利用



太陽光発電

小水力発電



固形燃料



このトイレの洗浄水は、山崎水質浄化センターで、処理してさらに汙過した水を再利用しています。

トイレの洗浄や修景池の水に

公衆衛生・公共用水域の水質保全

(7) 下水道中期ビジョン策定の目的

下水道中期ビジョン策定の目的 (持続型下水道確立のために)

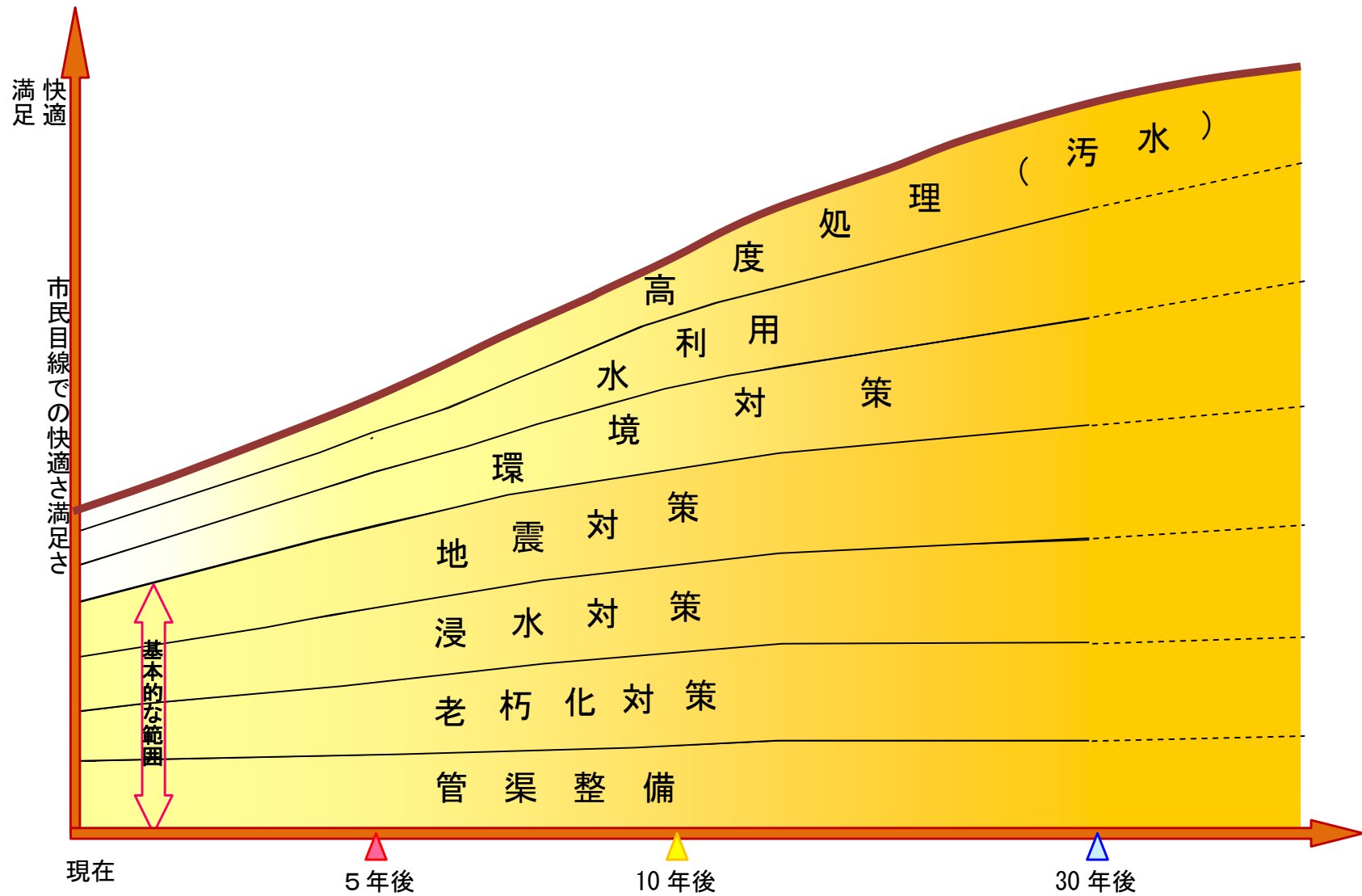
① 多様な課題に対応した目標を設定し、鎌倉市の下水道事業方針を明らかにする

- ・重点課題の整理と目標設定
- ・短・中・長期の取組方針

② 将来を見据えた経営方針を明らかにする

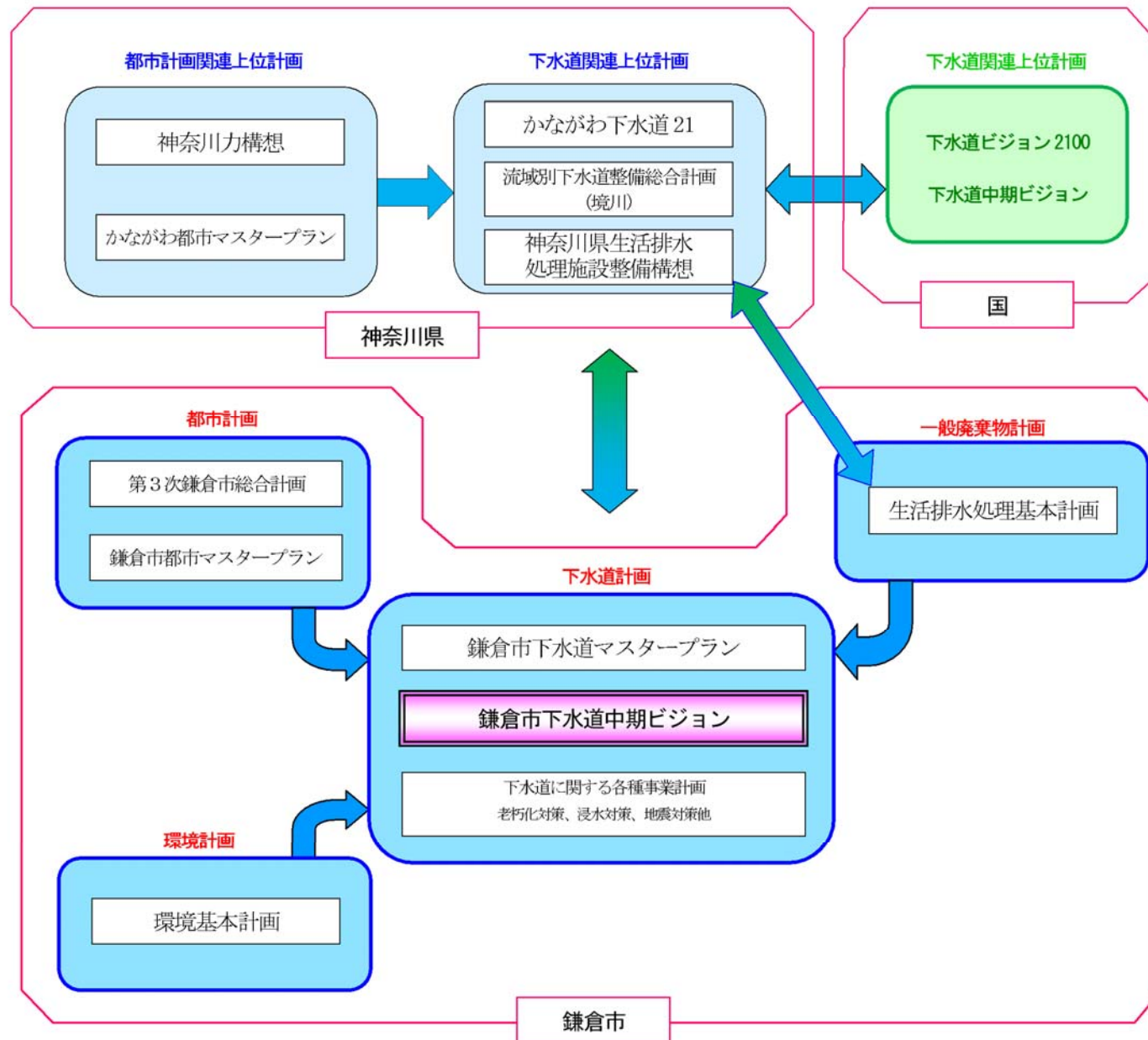
- ・事業運営からの視点、サービスからの視点両側面から評価
- ・人口減少、市民の節水意識等の社会情勢変化を踏まえた経営方針

重点課題と整備方針



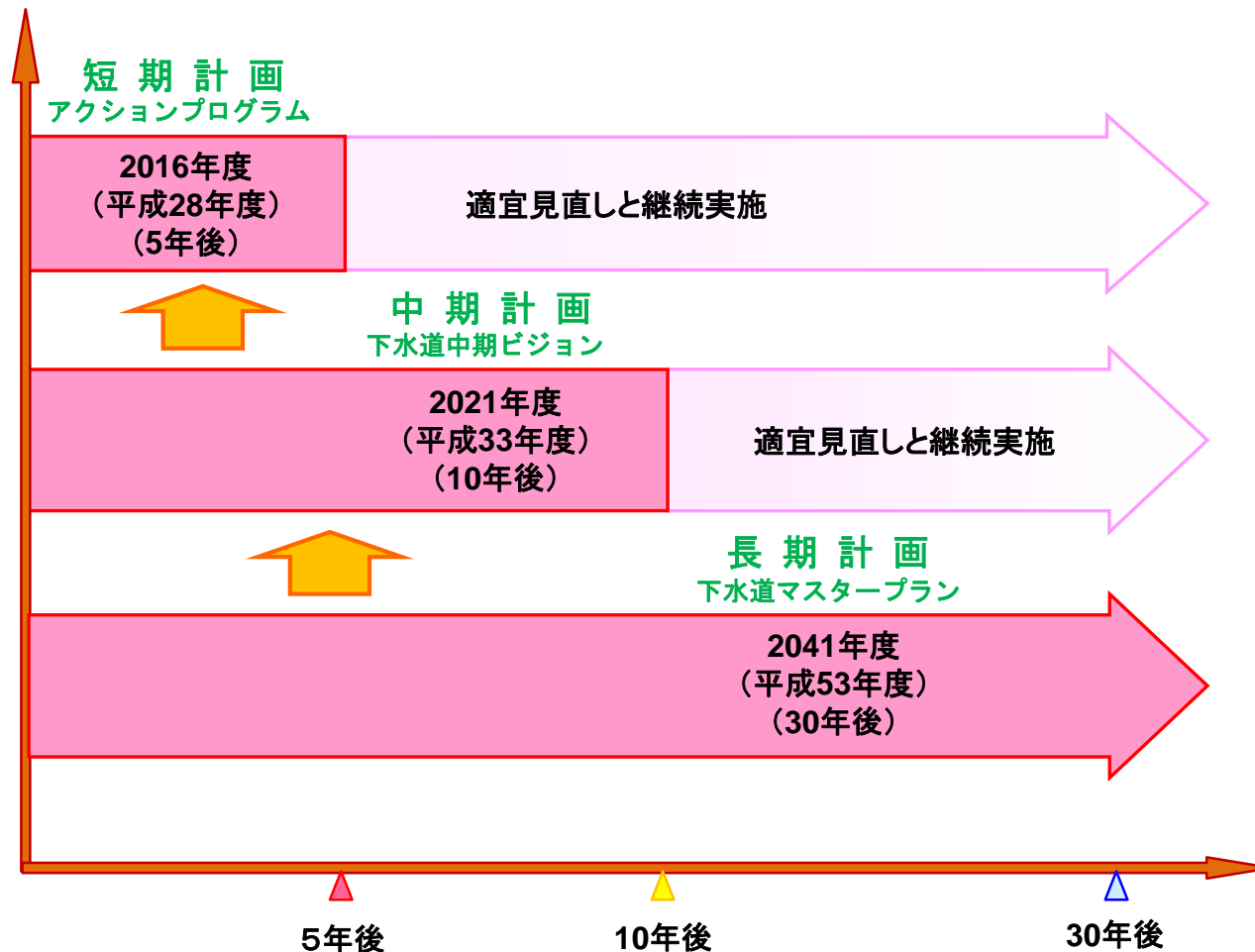
課題と快適さ・満足さの相関イメージ

2. 下水道中期ビジョンの位置づけ

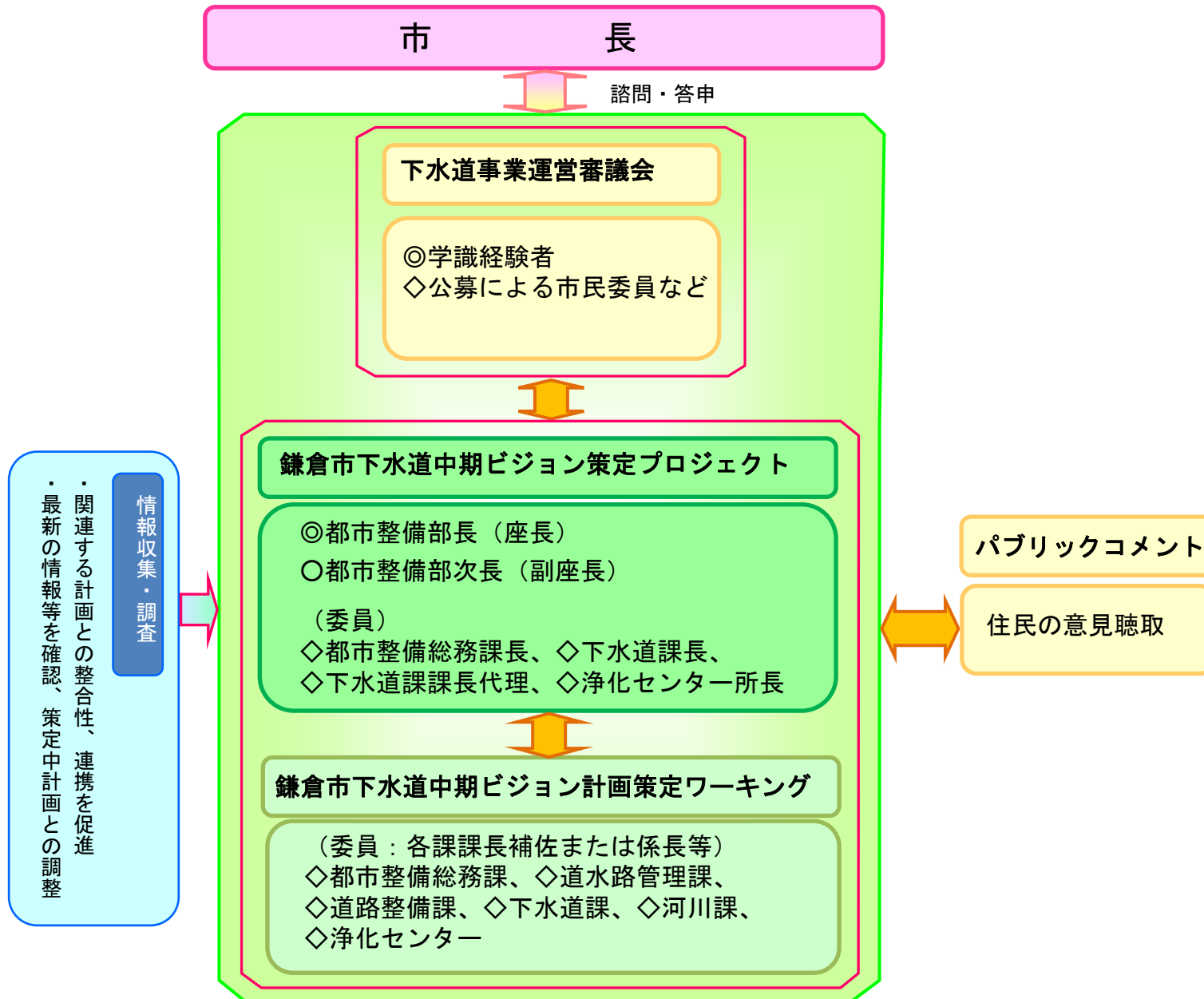


3. 計画の期間

計画の期間は、長期的な視点を踏まえて、2041年度（平成53年度）までの30年間を基本とし、段階的に短期計画は5年間、中期計画は10年間、長期計画は30年間とする



4. 下水道中期ビジョンの策定体制



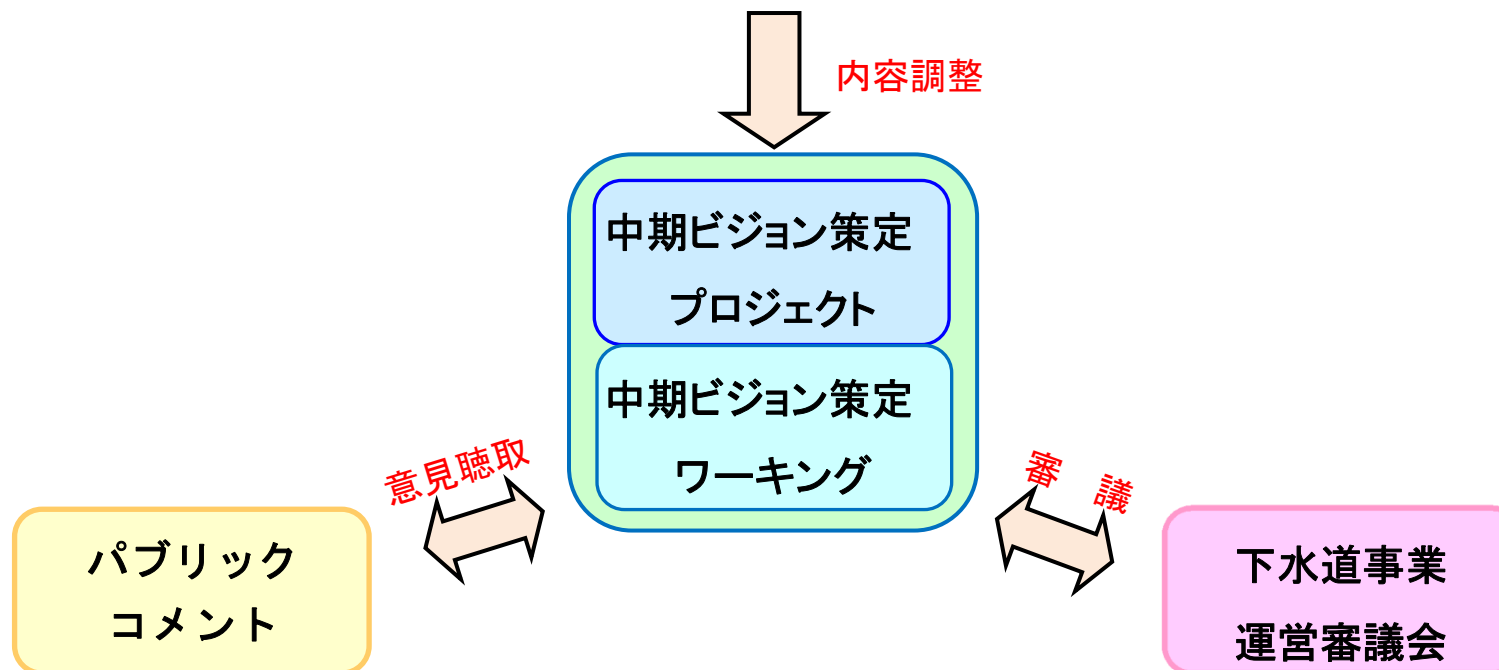
5. 下水道中期ビジョンの策定スケジュール

今後のスケジュール			
23年度	プロジェクト・ワーキング	市の行事	下水道事業運営審議会
4月			
5月	第1回プロジェクト		
6月		6月議会	公募以外の委員推薦依頼
7月			市民委員公募（広報掲載） ・ 公募の市民委員決定 ・ 審議会委員の委嘱 ・ 審議会への諮問事項決裁
8月	ワーキング検討案 プロジェクト検討案		
9月		9月議会	
10月			下水道事業運営審議会 ・ 諮問及び会長、副会長の選任 検討案を説明し意見を頂く
11月			下水道事業運営審議会 ・ 素案を説明し意見を頂く
12月		12月議会 ・ 素案報告 パブリックコメントの実施	
1月	ワーキング案 プロジェクト案決定	パブリックコメントまとめ	下水道事業運営審議会 ・ 案を説明、意見を頂く
2月		2月議会	
3月			下水道事業運営審議会 答申

プロジェクト・ワーキング 適宜開催

6. 下水道中期ビジョンの概要

確認事項（平成22年度に検討）
<ul style="list-style-type: none">・ 下水道に係る課題・ 基本理念・基本方針
検討内容（平成23年度に検討予定）
<ul style="list-style-type: none">・ 具体的施策の検討・ 財政見通しを踏まえた下水道経営のあり方検討・ 目標の設定（段階的取組等）

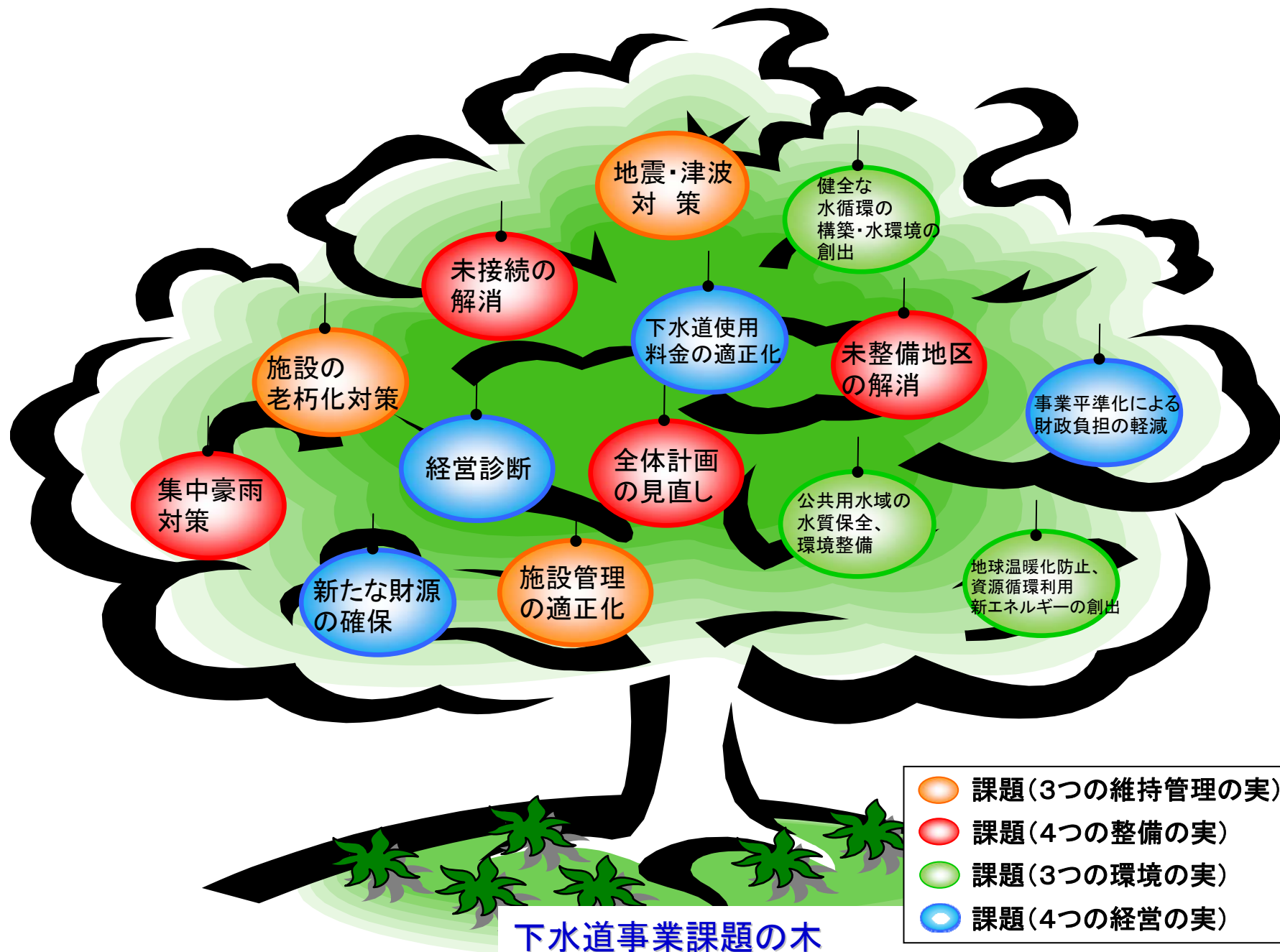


7. 下水道に係る課題

鎌倉市の下水道に係る主な課題は、大別すると、以下のとおりである

主要な課題

- 維持管理に関する課題
- 整備に関する課題
- 環境に関する課題
- 経営に関する課題



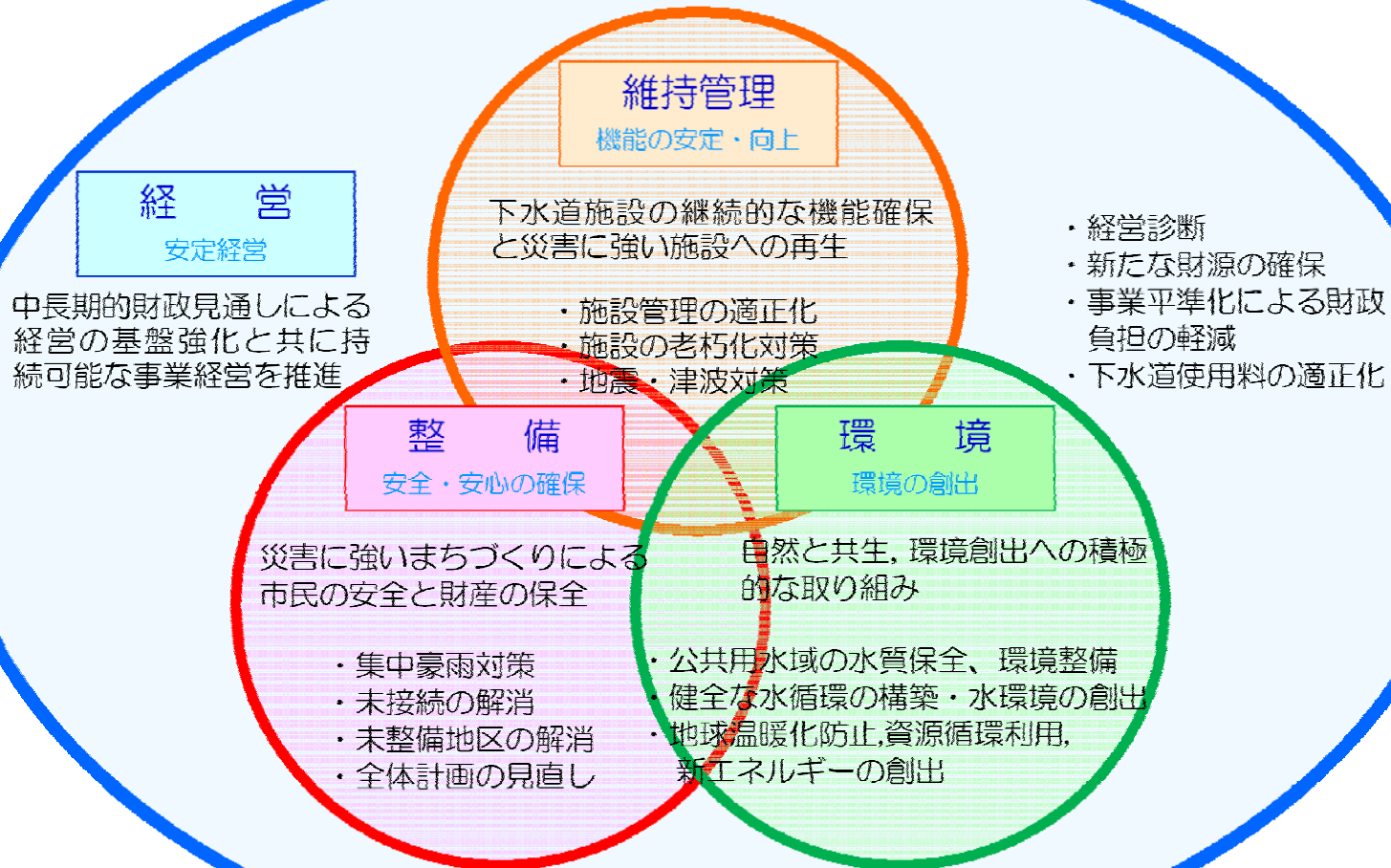
8. 基本理念・基本方針

① 基本理念

鎌倉の歴史ある都市環境を守り、安全で快適なまちづくりと良好な水環境の創出に貢献するとともに、エネルギーの有効利用を図り、安定した下水道経営のもとで持続可能な事業を展開する

～下水道がつくる未来の暮らしと環境～

② 基本方針



9. 今後の検討項目

(1) 維持管理

機能の安定・向上

- ・施設管理の適正化
- ・施設の老朽化対策
- ・地震・津波対策

(2) 整備

安全・安心の確保

- ・集中豪雨対策
- ・未接続の解消
- ・未整備地区の解消
- ・全体計画の見直し

(3) 環境

環境の創出

- ・公共用水域の水質保全、環境整備
- ・健全な水循環の構築・水環境の創出
- ・地球温暖化防止、資源循環利用、新エネルギーの創出

(4) 経営

安定経営

- ・経営診断
- ・新たな財源の確保
- ・事業平準化による財政負担の軽減
- ・下水道使用料金の適正化